

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 170-8401  
 住 所 東京都豊島区東池袋五丁目51番12号  
 氏 名 株式会社マルエツフレッシュフーズ  
 代表取締役社長 川田 猛敏

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツフレッシュフーズ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区東扇島6-10 かわさきファズ物流センターA棟4F		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	生鮮加工センターにおける食料品の仕入れ、製造、加工及び販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,863 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2023 年度 ~ 2025 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

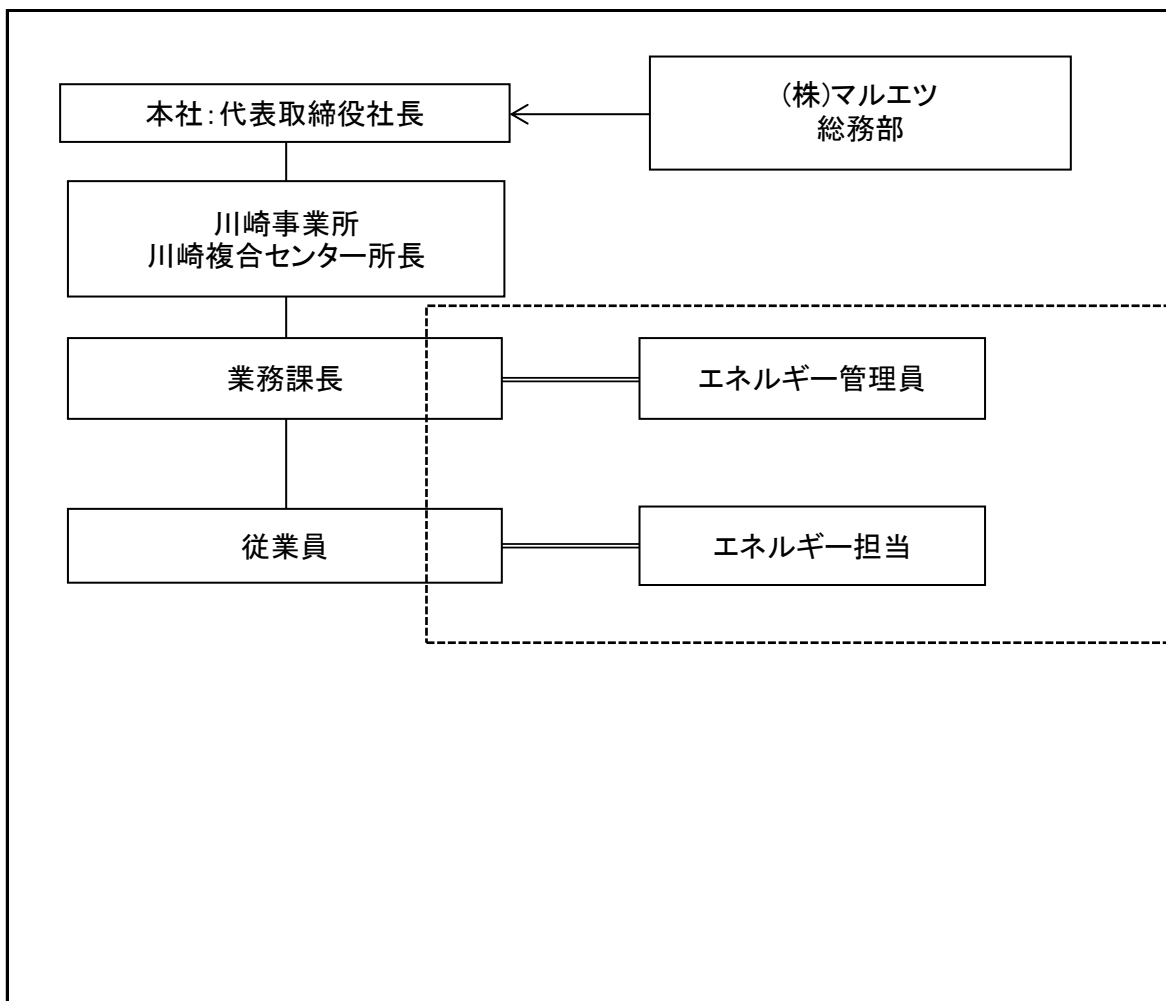
#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

■事業者全体方針  
 (株)マルエツフレッシュフーズは、マルエツグループとして、以下の「マルエツ環境方針」に則り活動しています。  
 1. 環境マネジメントシステムによる事業活動における環境負荷を最小限にするために目的と目標を設定し、定期的に見直します。  
 2. 当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。  
 3. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組めます。  
 4. この方針は社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。  
 ■市内の事業所についても、マルエツ環境方針に則り、温室効果ガスの排出の量の削減を図ります。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

①環境に配慮した商品の開発と普及に取り組めます。  
 ②電気使用量削減等の省エネルギー・省資源化を推進します。  
 ③最終的な廃棄物を削減するために3Rを推進します。  
 ④地球温暖化防止のため、1店舗当りCO2排出量を削減します。  
 以上の基本方針によりP D C Aサイクルを実行・管理します。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準年度		2022 年度	
目標年度		2025 年度	
基準排出量	(実)	3,321	(実)
	(調)	3,315 t-CO <sub>2</sub>	(調)
目標排出量	(実)	3,266	(実)
	(調)	t-CO <sub>2</sub>	(調)
削減量	(実)	55 t-CO <sub>2</sub>	(実)
内訳	対策実施による削減量	(実)	t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の削減量	(実)	55 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実)	1.7 %	(実)
			%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		生産パック数	
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> /百万パック	
基準年度の値		77.41	
目標年度の値		75.09	
削減率		3.0 %	
			%

ウ 目標設定に関する説明

生産量として、製造パック数（百万パック/年）を原単位の指標とします。CO <sub>2</sub> の削減は原単位で年1%削減を目標といたします。
---

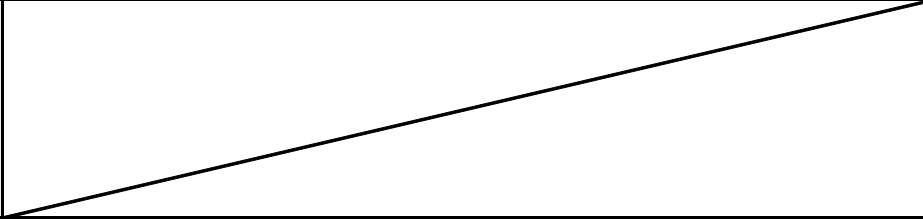
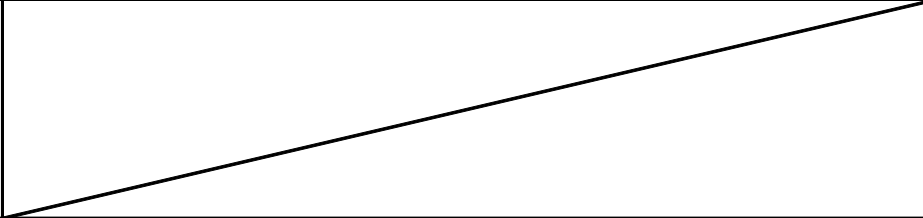
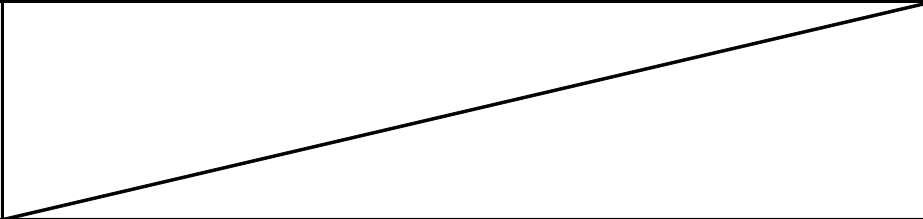
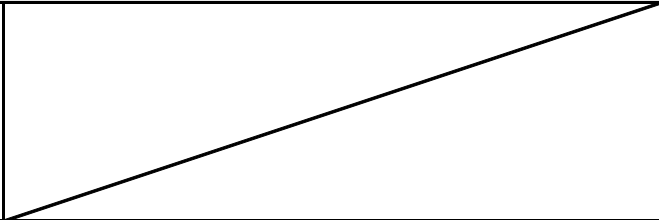
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○外部機関の利用等 ISO22000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施していきます。</p> <p>○冷凍機の効率管理 フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施します。 例えば以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで効率的な運用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷媒ガス漏れの有無</li> <li>・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無</li> <li>・室外機異常の有無 (異常振動、異常運動音、油にじみの有無)</li> <li>・室外機周辺の障害物の有無</li> </ul> <p>○空調 (事務所内) については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をしていきます。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>○2018年8月より、事務所天井照明のLED化を実施。</p> <p>○2021年2月より、加工エリア及びクロスドックエリア天井照明のLED化を実施。</p>
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー		
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通い箱（クレート）での配送</li> <li>○食品トレイの軽薄化</li> <li>○従業員への教育（環境教育動画の視聴）</li> </ul>
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	3,321	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

1,863	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
マルエツフレッシュフーズ川崎事業所	川崎市川崎区東扇島6-10	3,321 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>